

発行：伊丹市育児ファミリー・サポート・センター

育児ファミリー・サポート・センターは、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」が互いに会員になって、子育て中の人や働く人の家庭を地域で支えるシステムです。



令和元年度 必須講座 第1回目 申込随時

厚生労働省より通知があり、預かりを行うためには乳幼児の緊急救命講習会（AED、心肺蘇生等）の受講が必須となりました。伊丹市では、下記のように緊急救命を含む8講座を必須講座としております。よろしくお願いたします。

令和元年 6月26日(水) 9:30~11:00 心の発達とその問題 「こどもの障がいの種類や特徴について」

●場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1 ●講師 市こども発達支援センター 職員

令和元年 6月26日(水) 11:10~12:40 心の発達とその問題 「障がいのあるこどもとの関わり方」

●場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1 ●講師 市こども発達支援センター 職員

令和元年 6月29日(土) 10:00~11:30 子育て支援サービスを提供するために
「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」

●場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1 ●講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

令和元年 7月3日(水) 9:30~11:00 安全・事故 「事故対策講習会」

●場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1 ●講師 NPO法人 C・キッズ・ネットワーク

令和元年 7月3日(水) 11:10~12:40 保育の心 「育児支援者としての心構えと親子との関わり方について」

●場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1 ●講師 市幼児教育推進課 保育士

令和元年 7月5日(金) 9:30~11:00 こどもの世話 「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」

●場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1 ●講師 市健康政策課 保健師

令和元年 7月5日(金) 11:10~12:40 こどもの栄養と食生活 「こどもの栄養と食生活」

●場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1 ●講師 市健康政策課 栄養士

令和元年 7月6日(土) 10:00~11:30 安全・事故 「乳幼児の緊急救命講習会」

●場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1 ●講師 神戸救急グループ 救急インストラクター

★要申込み ★参加費は無料

★一時保育あり(1歳以上就学前まで) ※事前に事務局にご連絡ください

★託児料(1人 300円 2人目以降 150円)

ごあいさつ

伊丹市子ども未来部子育て支援課長
伊丹市育児ファミリー・サポート・センター所長

牧村 達也

梅雨空の中、雨に濡れた緑が美しく映える季節を迎え、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、4月の人事異動で、子ども家庭課から子育て支援課に異動して参りました。同じ子ども未来部の中での異動ですが、初めて知ることも多く、日々努力しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、今年4月に本市では組織改編がありました。就学前と就学後で分かれていた子どもに関する施策を所管する部署を教育委員会事務局に集約・再編して、子どもの成長・発達を一貫して支援するために、子ども未来部が教育委員会事務局に入ることになりました。組織再編に伴い、子育て支援課の担当業務も大きく変更することになりましたが、育児ファミリー・サポート・センター業務は、今までと変わらず子育て支援課が担当します。

育児ファミリー・サポート・センターは、ご存知の通り、育児の援助を受けたい方と育児の援助を行いたい方が、お互い会員となって、子育て中のご家庭を地域で支える

システムです。子育て中は、お子様の成長を実感されたり、楽しいことが多いものの、心配なことや大変なことでも出て参ります。お子様との関係でしんどさを感じられたり、お子様を連れて出かけにくい場面が生じた時などは、本当にお困りになられると思います。そうした時に、会員の皆様の相互扶助で子育て世帯を支えていくことは、子育て支援にとって大切な活動であると考えます。

本事業は、依頼会員と協力会員、そして両方会員の皆様の会員活動と、サブリリーダーやアドバイザー等のスタッフによる運営支援など、多くの皆様の活動によって成立しています。平成9年にスタートした伊丹市育児ファミリー・サポート・センターも、現在は2000名を越す会員の皆様で運営されております。これもひとえに、子育て世帯をはじめとする市民の皆様のご理解・ご支援の賜物と感謝する次第です。

今後も、センター事業、子育て支援施策の推進に職員一同、努めて参りますので、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

平成30年度 講座の報告

必須講座(第2回) 38名の方に受講いただき、その内12名が全受講されましたので、修了証をお渡しいたしました。

平成31年
1月16日(水)

安全・事故
「乳幼児の緊急救命講習会」

講師 神戸救急グループ 小林弘典さん 宮崎涼子さん 山中幸子さん

3グループに分かれて乳児・幼児・大人の人形を使い、心肺蘇生法やAEDの操作を全員の方が体験し、いざという時の緊急時の対応について、積極的に質問され大変熱心に取り組まれていました。




平成31年
1月19日(土)

心の発達とその問題
「こどもの障がいの種類や特徴について」

講師 市子ども発達支援センター 言語聴覚士 吉村道乃さん

こどもの障がいの種類や特徴を、具体的にわかりやすく教えていただきました。伊丹市の取り組みとして、手話言語条例が出来て、手話が1つの言語として認められたことを知り、みなさん手話に興味を持たれていました。




平成31年
1月19日(土)

心の発達とその問題
「障がいのあるこどもとの関わり方」

講師 市子ども発達支援センター 言語聴覚士 吉村道乃さん

関わり方のポイントとして、1. こどもの行動の特徴をつかむ(好きなこと・不安なこと・こだわっていることなど) 2. こどもにわかる伝え方(環境も含む)を簡潔に! わかりやすく! 具体的に考える 3. 得意なことや興味あることに注目する(幅が広がるきっかけ) 4. 自己肯定感をなくむ(ほめて! みとめて! 「できた!」)をわかりやすく教えていただきました。




平成31年
1月23日(水)

子育て支援サービスを提供するために
「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」

講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項についてお話をいただきました。「こんな時どうしますか?」では、お隣の方と相談されたり熱心に考えて参加していただきました。




平成31年
1月23日(水)

安全・事故
「事故対策講習会」

講師 NPO法人 C・キッズ・ネットワーク 酒井富美子さん

日常生活にひそむ室内外の危険な場所の把握や、ベビーカーを利用する際の注意点、危険な物はあらかじめ片づけるなど先回りして予防策をとることが大事であると学びました。視野体験めがねをつけて、こどもがどのあたりまで見えているのかを体験し、こどもの視野の狭さを実感されました。

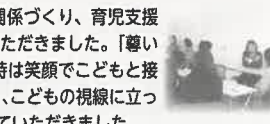


平成31年
1月26日(土)

保育の心
「育児支援者としての心構えと親子との関わり方について」

講師 市保育課 桜台保育所 副所長 浦山美樹さん

子育てを取り巻く現状、保護者やこどもとの関係づくり、育児支援者としての心構えや役割について、お話ししていただきました。「尊い命を預かっている」という自覚を持ち、支援の時は笑顔でこどもと接し(私はあなたを受け入れているよと全身で表し)、こどもの視線に立つてこどもの気持ちを読み取ることが大切だと教えていただきました。




平成31年
1月30日(水)

こどもの世話
「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」

講師 市健康政策課 保健師 矢崎森乃さん

こどもの発達段階別に起きがちな事故を知り環境を整えることや、実際の赤ちゃんと同じ重さの人形を抱っこしたり、最新の哺乳瓶や母子手帳や育児グッズを見せていただきました。

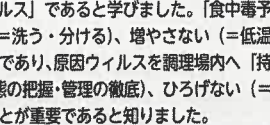


平成31年
1月30日(水)

こどもの栄養と食生活
「こどもの栄養と食生活」

講師 市健康政策課 栄養士 前田清香さん

食中毒を引き起こす主な原因は「細菌」と「ウイルス」であると学びました。「食中毒予防の3原則」とは、食中毒の原因菌を「つけない(=洗う・分ける)、増やさない(=低温で保存する)、やっつける(=加熱処理をする)」ことであり、原因ウイルスを調理場内へ「持ち込まない(=ウイルスに感染しない為に、健康状態の把握・管理の徹底)、ひろげない(=手洗い・調理器具の定期的な消毒・清掃の励行)」ことが重要であると知りました。



スキルアップ講座

平成30年12月12日(水)

「こどもと向きあうために」(こどものケアと健康管理)

講師 まちの保健室 看護師ボランティア
三谷貴子さん

自宅でできるこどものケアや緊急時の応急判断、対応、処置などを具体的に教えていただきました。ストレッチポールをつかって、自分自身のからだのメンテナンス方法も学ぶことができました。



平成31年3月6日(水)

「相手に寄り添う子育て支援とは」

講師 Felien (フェリアン) 副所長
津村薫さん

良い支援のポイントは、1. プラスのメッセージを伝えることを大切にする 2. 相手の「良いところ探し」「強み、持っているものに注目」 3. 相手の気持ちに寄り添うために聴くことが大切ということ、具体的にわかりやすく教えていただきました。



令和元年度

スキルアップ講座のお知らせ

みなさまのご参加を
心よりお待ちしております。



絵本の読み聞かせで生きる力を育てる

日時 令和元年9月7日(土) 10:00~12:00

絵本を読んでもらう心地よさを体験し、AIの時代を生き抜く子どもたちにとって、本当に身につけるべき力は何かを教えてください。

講師 NPO 法人「絵本で子育て」センター 羽石 憲子さん (定員) 30人(先着順)

託児 25人(先着順、要予約) 1歳以上就学前1人 300円

申込み ☎受付 育児ファミリー・サポート・センター
TEL 772-4560 受付は令和元年8月1日(木)からです。

その他



- ☆「乳幼児の緊急救命講習会」
 - ☆「子育て支援についてのお話」
- の実施を予定しております。

詳細は決まり次第、広報にてお知らせいたします。
ぜひ、ご参加ください。

※子育て支援センターと共催



平成30年度

活動報告

| 会員数 | |
|------|-------|
| 依頼会員 | 1660人 |
| 協力会員 | 434人 |
| 両方会員 | 248人 |
| 合計 | 2342人 |

| 活動内容BEST5 | |
|-----------|-------------------------------|
| 1位 | 保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり 569件 |
| 2位 | 子どもの習い事等の場合の援助 518件 |
| 3位 | 保育施設までの送迎 404件 |
| 4位 | 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり 336件 |
| 5位 | 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 182件 |
| 総件数 2536件 | |

サブリーダーさんの紹介

令和元年度お世話になる5人のサブリーダーさんです。センター閉所時に緊急依頼が発生した時は、アドバイザーにかわり援助依頼を受け付けて調整したり、講座などのお手伝いもさせていただきます。とても心強い協力会員さんでもあります。



谷さん
(寺本)



小野さん
(伊丹)



浅尾さん
(奥畑)



木山さん
(行基)



木場さん
(瑞ヶ丘)

みなさんとの出会いを大切に、みんなが笑顔になれるように、協力しあってサポートさせていただきます。

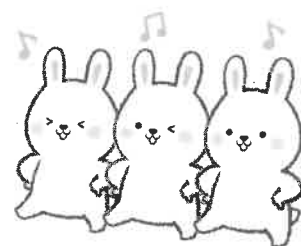
事務局よりおねがい

☆以下の場合は、依頼会員さんから必ず活動日までに事務局へご連絡ください。(留守電可)

- ①直接協力会員さんに援助をお願いされた場合
- ②依頼内容が変更となった場合
- ③依頼をキャンセルされた場合

例①上の子の参観のため、〇月〇日何時から何時までA子ちゃんの預かりを協力会員のMさんに依頼しました。

- ②(下の子1人の預かりでしたが、上の子も一緒にお願ひしました。)
- ②〇月〇日ならいごとがお休みとなったので、協力会員宅での預かりに変更してもらいました。
- ③〇月〇日は、主人が休めるようになったのでキャンセルしました。



※万一のトラブル防止のため、ファミリー・サポート・センターでは保険に入っておりますが、依頼受付をしていない場合や依頼内容が違くと保険が適用されませんので、ご注意ください。

☆登録時より変更事項(住所・TEL番号・2人目誕生・引越し等)がありましたら、所定の手続き書類(変更届、退会届)がありますので事務局までご連絡ください。

報酬に対する課税について

*税法上の解釈及び確定申告等についての詳細は各自の勤務先及び国税庁のホームページ、税務署にて確認してください。

ファミリー・サポート・センターの援助活動で得た報酬額(おやつ代、食事代、交通費、おむつ代等の実費は除く)は、税法上「雑所得」となります。

雑所得(ファミサポの報酬額)と、給与所得(他のパート、アルバイト等で得た収入)の合計が年間(1月1日~12月31日)で38万円を超えると、課税対象になります。

会員 随時募集中!!

年々援助の輪が広がっておりますが、中にはまだ育児ファミリー・サポート・センター事業をご存知ない方もいらっしゃると思います。今お近くに、支援が必要な方、また、今なら支援ができるという方がいらっしゃいましたら、このお便りと共にご紹介くださればありがたく思います。よろしくお願ひいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

伊丹市育児ファミリー・サポート・センター事務局

〒664-0014 伊丹市広畑3丁目1番地
伊丹市立地域福祉総合センター1階
(いたみいききプラザ)
TEL・FAX 072-772-4560

開館時間 午前9時~午後5時まで

休館日 日・祝日、年末年始

交通機関 JR伊丹駅または阪急伊丹駅から市バス昆陽里行きで三師団・交通局前バス停下車すぐ

